

# 次年度会長に向井理事を選出

9月19日(水)、八戸市福祉公民館において臨時総会を開催し、2019・2020年度会長予定者に向井誠仁氏(株)ジーアイテック代表取締役社長)を選出しました。

また10月17日(水)、八戸シーガルビューホテルにおいて開かれた臨時総会では、2019年度事業計画骨子、2019・2020年度役員選出、同組織体制の3議案が審議され、こちらも満場一致で可決されました。

来年度から八戸 YEG は「地方創生・活性化」「経営対策」「広域連携」「スポーツ振興」の4事業に取り組むための4委員会と「総務室」を設置します。また2020年に開かれる YEG 全国サッカー大会の実行委員会も設け、全会員で対応し諸準備を始めます。次年度会長や組織体制も決まり、これからメンバー一丸となって活動して参ります。

総務・活性化委員会

委員長 熊谷 勝之

(株) デリー東北新聞社

## 向井次年度会長所信

スローガン  
革新として新たな継承へ  
学び、継承し、  
持続する YEG へ

地域経済の現状を見ると、少子高齢化に伴う事業承継問題や経済の担い手となる人材不足問題、人口減少を起因とする地域商圏の縮小による経済の停滞が懸念されており、当市においても看過できない問題となっています。

2019年度は、ビジョン「革進」の下、地域経済の問題解決に取り組み、これまで以上に円滑な青年部組織を構築します。そのために、まず、組織の円滑な運営と活性化を目指すと同時に、各事業委員会との連携をスムーズにするため、会長直属の「総務室」を設置します。

事業としては、港湾振興や海外展開などを視野に入れた地方創生・活性化事業、人手不足などの



雇用問題や、持続的かつ発展的な経営対策に資する事業、広域的な交流や情報を活用する広域連携事業、スポーツによる街づくりを目指すスポーツ振興事業の計4事業を主体的に取り組むため委員会を設置します。

また、2020年には商工会議所青年部第18回全国サッカー大会の八戸大会開催が決定しています。我々は大会の成功に向けて全員で行動し、開催のノウハウを蓄積し、今後スポーツを通じて大きな経済効果をもたらすことができる事業を立案し、実行に移すための検討の期間としてまいります。

これらの課題に取り組むためにも、これまで沢山の先輩方が築いてきた文化や熱い想いを継承しながら、商工会議所青年部の指針に基づき、

- ・ 地域を支える青年経済人としてあるべき姿とは何か
- ・ これからの国際社会とどう向き合うべきか
- ・ 将来にわたって子供達が安心して暮らせる豊かな地域をどう築くべきか
- ・ 青年部ががっちりスクラムを組む新たな時代を突き進む

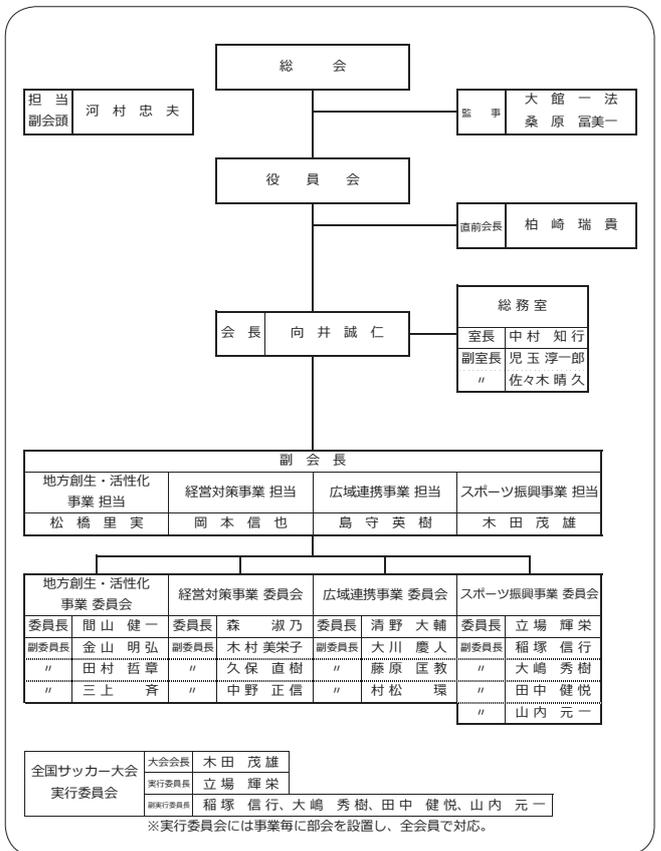
を YEG メンバー全員と共に考えながら、行動して参ります。

次年度会長予定者 向井 誠仁

### 次年度 役員名簿

No.	役職	氏名	事業所名	役職
1	会長	向井 誠仁	(株)ジーアイテック	代表取締役社長
2	直前会長	柏崎 瑞貴	(有)華コーポレーション	代表取締役専務
3	副会長	岡本 信也	(株)アイティコワーク	取締役
4	〃	木田 茂雄	(有)サンキョウ企画	代表取締役
5	〃	島守 英樹	(株)島守ダクト	代表取締役
6	〃	松橋 里実	(株)松橋不動産	専務取締役
7	理事	稲塚 信行	やまと鑄造工業(株)	専務取締役
8	〃	大川 慶人	(株)寿屋	専務取締役
9	〃	大嶋 秀樹	(株)ウイクトリア	営業部長
10	〃	金山 明弘	(有)静岡屋	代表取締役
11	〃	木村 美栄子	(株)エーアンドエム	代表取締役
12	〃	久保 直樹	(有)久保工務店	専務取締役
13	〃	児玉 淳一郎	(株)サン・ベンディング	代表取締役
14	〃	佐々木 晴久	(株)中長印刷	営業
15	〃	清野 大輔	清野社労士事務所	代表
16	〃	立場 輝栄	アダプティブ(株)	チーフマネージャー
17	〃	田中 健悦	ノーザンライツ(株)	代表取締役
18	〃	田村 哲章	八戸印刷工業(株)	代表取締役
19	〃	中野 正信	(有)やまはる	代表取締役
20	〃	中村 知行	(有)中ペン塗装店	専務取締役
21	〃	藤原 匡教	青森朝日放送(株)	営業
22	〃	間山 健一	(有)八戸マイホームセンター	専務取締役
23	〃	三上 斉	(株)エービッツ	所長代理
24	〃	村松 環	(有)アビオ	プランナー
25	〃	森 淑乃	学職開発(株)	代表取締役
26	〃	山内 元一	山和機器産業(株)	代表取締役
27	監事	大館 一法	(宗)大慈寺	代表社員(住職)
28	〃	桑原 富美一	(同)付加価値経営研究所	代表社員

### 次年度 組織図



### 東北ブロック秋田おおまがり大会に参加

9月8日(土)、秋田県大仙市にて開かれた東北ブロック大会秋田おおまがり大会に、メンバー22名で参加しました。

現地到着時はあいにくの雨。記念式典では、次年度東北ブロック会長の発表、地元青年部の男性会員(42歳)による梵天ぼんてんと呼ばれる厄払いの神事の披露、記念講演・各分科会と盛り沢山でした。

そして待ちに待った大懇親会。日中の雨が嘘の様に晴れ渡り、メイン会場の雄物川河川敷にて、東北各地

から集まったYEGメンバーが夜空に浮かぶ大輪の花の下で友好を深め合いました。帰路は、東北新幹線の最終に乗車する為に、フィナーレの花火に後ろ髪引かれながら会場を後にしましたが、タイトな日程でも充実した東北ブロック大会でした。



副委員長 小野澤 匡洋  
(有)朝日堂

# 八戸港 カッターレース開催

7月22日(日)、八戸港ポートア  
イランドにて当YEGの共催により  
「デリー東北カップ八戸港カッタ  
ーレース2018」を開催しました。  
昨年は荒天に見舞われたため2年  
ぶりの開催となり、県内外から76  
チームがエントリー。大会は大いに  
盛り上がりました。

当日は、当YEG5委員会のほ  
か、東北ブロック、白河、十和田、  
弘前から参加していただきました。  
各チームは決勝には残れませんが、  
が4位となり、何とか共催団体と  
しての面目を保つことができました。  
当日は、日本YEG総務広報委  
員会の方々も取材に来ていただき、  
日本商工会議所の広報誌「石垣」



9月号の「YEGフラッシュ」内に  
記事を掲載していただきました。

八戸港カッターレースは単会会員  
のみならずOBや県内外YEGの  
皆様と交流できる大切な事業だと  
考えています。今後も情報発信に  
努めて、社会や地域に対しYEG  
の存在感をアピールしたいと考えて  
います。

委員長 菊地 優一郎  
(株) 吉田産業八戸支店

## 7月定例会・研修会



7月25日(水) 八戸パークホテ  
ルにて、みらい人財委員会主管の  
7月定例会を開催しました。

研修会では、サトーカメラ(株)  
代表取締役専務(株) 日本販売  
促進研究所チーフコンサルタント  
の佐藤勝人氏を招き、「繁盛を生  
み出すスタッフを育てよう！」と  
題して、必要とされる人材の育て  
方について講演頂きました。  
佐藤氏からは、ざっくばらんな

語り口の中に、自らの経験に裏打  
ちされた、普段余り耳にしないよ  
うな経営論を伺うことができました。

また、今回の定例会では残念な  
報告があります。委員会でも余興を  
準備していましたが、諸事情に  
より実施できませんでした。今後  
の反省材料にしたいと思います。

委員長 清野 大輔  
清野社労士事務所

## むつ市で県連臨時総会

9月15日(土) 第3回役員会・  
第1回臨時総会がむつ市にて開催  
され、次年度県連会長として、む  
つYEGの福嶋智治君が選任され  
ました。また、2023年度に本  
県で開催されるブロック大会は、  
むつ市が開催候補地として承認さ  
れ、その他の人事案も全て承認と  
なり、2019年度に向けスター  
トを切りました。

懇親会では、むつ市の夜景を眼  
下に望みながら料理を食し、趣向  
を凝らした余興で終始笑いの絶え  
ない楽しい時間を過ごし、存分に  
むつの魅力を堪能して参りました。  
青森県連YEG

直前会長 中村 知行  
(有) 中ペン塗装店

## Aライン協議会

10月13日(土)、Aライン協議会の  
「久慈地方産業まつり」出展事業に、  
八戸YEGから2名で参加しました。  
当日は好天に恵まれ、来場者も多く、  
私達は黒石風焼きそばや大湊カレー  
ライスコロッケ、大館みそ付けたんぼ  
の販売を手伝いました。

1日目終了後の懇親会は、久慈Y  
EG会長が経営する居酒屋での開催。  
2年前の8月に台風10号で被災した  
商店街に近く、夏の暑い日に復旧支  
援に行った事を思い出しながら、各  
地の出向メンバーと交流しました。  
Aライン協議会

委員 島守 英樹  
(株) 島守ダクト

## 全国ゴルフ大会に参加

7月27日(金)、28日(土)、青森  
市内にて商工会議所青年部第3回全  
国ゴルフ大会青森大会が開かれ、八戸  
YEGからメンバー8名で参加しまし  
た。ゴルフの成績は振るわなかったもの  
の、全国のYEGメンバーと親睦を深  
め、大規模大会の運営を目の当たり  
にすることができました。この経験を  
今後の八戸YEGの活動にも活かした  
と思います。

総務・活性化委員会  
委員 児玉 淳一郎  
(株) サン・ペンディング

# 10月定例会・研修会

10月17日(水)、八戸シーガルビュートホテルにて10月定例会を開催しました。

研修会では、(一財)青森地域社会研究所の竹内紀人常務理事に「人口減少の未来図・八戸編」と題して講演して頂きました。

どの企業も課題として掲げている人口減少という問題を、色々なデータを用いて八戸市や青森県の将来像として解説頂きました。具体的な数字に落とし込むことで、直面する課題の大きさを更に実感できました。

同時に、「全世代の労働力率を向上させ、スウェーデンに匹敵する女性活躍社会を実現できれば労働力人口の減少をカバーできる」というお話には希望も見出せました。

また、「グローバル世界の頂点ではなく、地域に密着した仕事の生産効率を上げ、ローカルの世界の頂点を目指すべきだ」というお話を頂いたことは、今後における自分の仕事のヒントにもなりました。

竹内常務理事には懇親会にもご出席頂き、研修会に引き続きデータを活用した分析の手法などを教えて頂きました。また、余興として委員会対抗形式の温泉卓球大会

を開催し、楽しく交流することができました。

委員長 菊地 優二郎  
(株) 吉田産業八戸支店



## 小学生事業計画説明会

小学5・6年生を対象とした企業体験プログラム「ジュニアエコノミーカレッジ」の事業計画説明会を10月8日(月)、八戸商工会館で開催しました。

ジュニアエコは本年度で6回目となります。今回は4チームが参加してチーム内で社長や財務部長などの役職を決定。これまで青年部メンバーがサポートして、商品の原価と付加



## 災害時の心構え

9月5日、別団体の会議で札幌市に滞在中、早朝3時頃に北海道胆振東部地震に被災しました。

私自身、ビジネスや会議などで全国各地に出向く機会が多い上、これまで東日本大地震を始め台風、大雨、強風と様々な災害に遭った経験があります。まずは落ち着いて情報収集と安全確保を優先にして行動しました。

地震発生から時間が経つにつれて、札幌市内では停電、断水、食糧不

価値から売価を設定する考え方を学び、商品レシピアや事業計画を練ってきました。

また、これまで勉強した事を活かす場となった事業計画説明会では、始めに青年部メンバーがビジネスマナーや帳簿の付け方、商品PRの方法を講義。その後児童達は、西川13代会長と柏崎会長が務める銀行役から融資を取り付けるため、プレゼンテーションに臨みました。各社とも様々な指摘を受けて複数回のプレゼンを行い、無事に融資を受けられることができました。

委員長 清野 大輔  
清野社労士事務所

## 八戸YEGおらんの部屋

足に見舞われ、情報量も少なくなり、行動計画を立てにくくなりましたが、色々な方に助けられて無事ふると八戸に帰ってきました。

今回も仲間の温かさが身に染みましました。皆様もYEG活動等で各地を訪問する機会が多いと思いますので、災害に遭遇した際の心構えを持ち、準備に心掛けて下さい。

八戸商工会議所青年部  
直前会長 葛西 慶信  
(有)くじら不動産

## 編集後記

次年度会長に向井理事が選出されました。実は、私が八戸YEGに入会して最初に名刺交換して頂いた方です。そういう方が会長に選ばれた臨時総会で自分は司会を務め、更にはこの編集後記も書いています。この状況は縁としか言いようがありませんし、青年部活動の醍醐味でもあります。

青年部の中で多くの人が様々な縁を作れば、会の結束は間違いなく強まります。

新生・向井丸の船出です。會員の皆さんがそれぞれの縁を増やし、縁が絆となることを願っています。

総務・活性化委員会  
委員長 熊谷 勝之  
(株) デーリー東北新聞社